

# 医療費助成事業のレセプト請求例

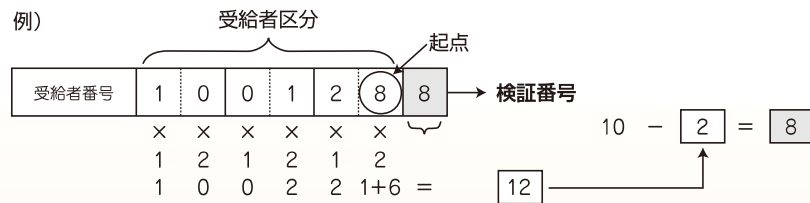
支払基金が医療費助成事業を受託した場合は、医療機関から併用レセプトで請求されます。

医療機関から請求されるレセプトイメージ(乳幼児医療:法別番号「81」とした場合)

## ① 医療費助成事業の公費負担者番号及び受給者番号の記載欄

- \* 国の公費負担医療がある場合は、公費負担者番号②に記載されます。
- \* 公費負担者番号及び受給者番号の下1桁は検証番号となっています。  
(※検証番号の算出方法は次のとおりです。)

### ※検証番号の算出方法



- ① 受給者番号の各数に末尾の桁を起点として順次2と1を乗じます。
- ② 前①で算出した積の和を求めます。ただし、積が2桁となる場合は、1桁目と2桁目の数字の和となります。
- ③ 10と前②で算出した数字の下1桁の数との差を検証番号とします。ただし、1の位の数があるときは検証番号は0となります。(公費負担者番号の検証番号についても同じです。)

※ 支払基金が医療費助成事業を受託した場合の受給者番号7桁については、レセプトの記載要領により上記のとおりとなります。検証番号に誤りがある場合は、受給者証の再発行を要することから、ご留意願います。

## ② 支払基金で診療報酬の審査を実施

請求されたレセプトについては、診療内容等について審査を実施します。

※ 耳鼻咽喉科特定疾患指導管理料を査定(減点)した事例  
本事例は、特定疾患療養管理料と耳鼻咽喉科特定疾患指導管理料を同一月に算定しているため査定(減点)した事例です。

○診療報酬明細書 (医科入院外) 令和2年4月分

公費負担者番号①: 81\*\*\*0012 公費負担者番号②: 1001288

公費負担者番号②: 1001288

被保険者証・被保険者手帳等の記号・番号: 10・8514001 (枝番)

氏名: 基金 花子 性別: 女 年齢: 4 年 27.3.3 生

傷病名: (1) 右滲出性中耳炎(主) (2) 慢性気管支炎(主) (3) アレルギー性鼻炎 (4)

診療日: (1) 令和2年1月9日 (2) 令和2年2月17日 (3) 令和2年2月17日 (4)

11	初診	時間外・休日・夜夜	回	点	公費点数	13	* 特定疾患療養管理料 (診療所)	225	x	2	
12	再診	111	x	2	回	222	D	* 耳鼻咽喉科特定疾患指導管理料	150	x	1
13	医学管理		x	回	150						
20	内服薬	11	x	1	単位	11					
21	外用薬		x	回							
22	注射薬		x	回							
23	点滴薬		x	回							
24	吸入薬		x	回							
25	処方箋		x	回	60						
26	麻酔薬		x	回							
27	調剤		x	回							
30	皮下筋肉内注射		x	回							
31	皮膚内注射		x	回							
32	静脈内注射		x	回							
33	その他		x	回							
40	処置	2	x	回	120						
50	手術・麻酔		x	回	40						
60	検査料	6	x	回	485						
70	画像診断		x	回							
80	処方せん		x	回							
その他	薬		x	回							

請求点: 1,557 決定点: 1,407

診療報酬(円)総額・支払額: 1,557 1,407

○支払基金に委託することによって、審査結果が反映され、医療費の適正化につながります。